

事務事業事後評価シート[平成30年度事業]

1. 基本情報

| | | | |
|-------------|-----------------------------------|---------------------------|-------|
| ■事業の担当課 | 農林部農業振興課 | ■担当係 | 水田宮農係 |
| ■評価事業名称 | 農業後継者育成対策事務 | | |
| ■事業開始年度 | 平成3年度 | | |
| ■評価事業コード | 050200 - 302 | ■会計区分 | 一般会計 |
| ■総合計画での位置づけ | ■政策 | 03 ひと・技・資源を組合せ活気うまれるまちづくり | |
| | ■基本施策 | 04 地域産業を担う人づくりと雇用環境の向上 | |
| | ■施策 | 04 農林業の担い手等人材の育成支援 | |
| ■事業の類型 | 05 ソフト事業(任意) | ■政策・業務区分 | 政策 |
| ■法令の根拠区分 | 法令に特に定めのないもの | | |
| ■法令等の名称 | | | |
| ■関連計画の名称 | 北上地方新規就農者確保・育成対策プラン(北上地方農林業振興協議会) | | |
| ■事業の目的と概要 | 意欲ある農業後継者の育成。農業後継者の各種活動支援事務 | | |

2. 細事業の活動実績情報

| 細事業コード | 細事業名称 | 事業の対象 | 平成30年度事業計画 | 平成30年度事業量実績 |
|--------|-------------|-------|--|---|
| 01 | 農業後継者育成対策事務 | 農業後継者 | ・新規就農相談受付・随時農振協 就農体験事業 1回・青年農業者対象意見交換会出席・国・県からの各種研修会等の周知 | ・「新農業人フェアinいわて」2回・新規就農相談会開催1回・農業・農地相談会 1回・青年農業者対象意見交換会出席 1回・4Hクラブ総会・役員会9回 |

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

| | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 備考 |
|-----------------|--------|--------|--------|--------|----|
| 直接事業費 | 10 | 4 | 19 | 6 | |
| 人件費 | 1,340 | 676 | 3,281 | 999 | |
| その他(公債費・減価償却費等) | | | | | |
| フルコスト | 1,350 | 680 | 3,300 | 1,005 | |

4. 評価指標等の状況

| 指標コード | 指標名 | 27年度 | 28年度 | 29年度 | 30年度 | 指標の説明 |
|-------|------------------------------------|------|------|------|------|---|
| 01 | 就農促進にかかる担当者会議への出席、県立農大生との意見交換会への参加 | 1 | 1 | 1 | 1 | 就農促進にかかる担当者会議への出席、県立農大生を参集する意見交換会等の催事への参加 |
| 02 | 北上4Hクラブの総会、役員会、催事への参画 | 10 | 16 | 12 | 12 | 北上4Hクラブの総会、役員会、催事等への参画 |

事務事業事後評価シート[平成30年度事業]

| | | | | | | |
|----|-----------|----|----|----|---|--------------------------------------|
| 03 | 新規就農者数の増加 | 15 | 15 | 10 | 8 | 就農促進に係る市町村等担当者会議資料「市町村別の新規就農者確保状況」より |
|----|-----------|----|----|----|---|--------------------------------------|

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

達成状況の分析

農林業ビジョンでの新規就農者数の目標が15名であり、実績が目標値の1/2に留まった。4Hクラブの活動は、昨年と同様の活動ができた。

問題点・課題等

新規就農者の確保が難しいほか、法人への雇用就農がほとんどで、個人経営の新規就農者は少ない。

1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

2. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

3. 事業廃止の影響・貢献度

- 事業の廃止により重大な問題が発生する
- 事業の廃止により何らかの問題が発生する
- 事業の廃止による問題は想定されない

4. 市民生活・企業活動への貢献度

- 市民生活・企業活動の維持に不可欠
- 市民生活・企業活動の維持に一定程度貢献している
- 市民生活・企業活動の維持への貢献度は低い

5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合

- 1. で選択した人の大多数(70%程度)
- 1. で選択した人の半分程度(50%程度)
- 1. で選択した人の少数(30%程度)

6. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

7. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

8. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

9. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

10. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

11. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■事業の見直し方策(評価項目2,4の補足説明含む)

農業が人口減少していく中、後継者の育成対策は必要である。

■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小
- IV. 廃止・休止
- V. 完了